

令和 5 年度 学校経営計画書

学校番号	84	学校名	新居高等学校（全日制）	校長名	野崎 真司
------	----	-----	-------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

全国有数の工業地域に立地し、100年近い歴史を有し地域を支える有用な人材を輩出してきた全日制普通科高校として、多様な生徒一人ひとりの個性と地域のニーズに対応したコース制による学習や、校訓「勉学」「礼儀」「積善」を教育実践に生かし、心身ともに健全で実践力と創造力を持った地域に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ○自らを律しつつ、広い視野を持ち、地域に貢献できる実践力と創造力を育みます。 ○基礎・基本を身に付け、主体的に判断し、自己の進路目標を達成する能力を育みます。 ○たくましく生きるための心身と多様な個性を認め、深く感動することができる豊かな人間性を育みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本を大切にしながら確かな学力の育成を目指します。 ○コース等の編成を生かしながら自己目標を達成するための知識・技能の習得を目指します。 ○保護者や地域等と連携しながら、実践的に地域に貢献できる人材の育成を目指します。 ○個別学習・協働学習を推進し、課題解決できる実践力と創造力の育成を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学ぶ意欲のある生徒。 ○あきらめずに挑戦する意欲のある生徒。 ○特別活動及び部活動の充実を通して豊かな人間性を育みたい生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備
- イ 基本的な生活習慣の確立と自立した生徒の育成
- ウ 確かな学力の育成
- エ コース制及び進路指導の充実
- オ 特別活動及び部活動の充実
- カ 保護者や地域等と連携し、開かれた学校づくりの推進
- キ 持続可能な教職員の働き方改善

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	生命が守られ、安全で安心して生活できる校内環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・心を育てる講話や集団活動の実施 ・生徒の出欠確認の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にし、思いやる心を持ち、判断力、行動力のある生徒が育つ。 ・昨年度に比べて出席率3%の向上 	保健 総務 生徒 学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」や「ひやり、はっと」等、生徒の心の状態を調査するアンケートの継続的实施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」を感じる生徒が早期に発見され、適切に対処される。 	

様式第1号

		<ul style="list-style-type: none"> ・校内施設の定期的点検の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃時の点検を徹底し危険個所が未然に補修される。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の年2回の実施と内容の工夫（JR東海と連携して通学時の訓練実施） ・地域防災への参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・津波対策を意識した訓練ができる。 ・地域防災への意識が高まり参加率75%を超える。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の年度当初の実施と交通安全指導の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の交通事故0件。交通違反0件。 	
イ	基本的生活習慣の確立と自立した生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学年・全校集会の実施 ・保護者、教職員が連携した毅然とした指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、礼儀、正しい身なりなど、当たり前なことがきちんと身に付く。 	生徒保健相談室 学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主的、実践的な取組の奨励 ・生徒のよさに着目した全職員による生徒への声掛け 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動が未然に防がれ落ち着いた学習環境が維持される。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人権に配慮し、生徒の特性に応じた指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導への保護者の理解度80%以上。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援の視点を取入れた生徒指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・通級指導を通じて支援の方法を学んだと答える教員65%以上。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻生徒の声掛け指導の継続と5分前行動の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣が身につく。遅刻者数前年度10%減。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて考える教育の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールについて自ら考える機会を各学期1回設定する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・学年集会や全校集会で積善の行いを奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積善に取り組めたと答える生徒・教員90%以上 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・海岸清掃等の奉仕活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動に全員が参加し奉仕の心が育つ。 	
ウ	確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・校内外を対象とした授業公開の実施 ・シラバスの継続的な改善と学習の手引きの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態にあった「新居高の授業」づくりが進む。 	教務進路研修 図書学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト前の学習支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が事前学習をしてテストに取り組んでいる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」のための学習評価の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・1,2学年の観点別学習評価について納得していると答える生徒70%以上。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用した授業の充実 ・生徒による授業評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業がわかりやすい」と答える生徒の割合80%以上 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者数5%増加 	

様式第1号

エ	コース制及び進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・コース制の特色を生かした教育の推進と教育課程の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級減による課題や改善点の検討を経て新教育課程が確立する。 ・進路に必要な学力が身に付く。 	管理職 教務 進路 学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の進路計画の改定 ・目標を意識した学習記録表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者の年内内定率100% 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・進路行事の工夫と実施 ・インターンシップの実施と改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間により「進路意識が向上した」と答える生徒80%以上。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大学や商工会、職業訓練センター等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関の活用・支援が充実する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアマイスター制度を活用して資格取得者の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格の取得が進む。 	
オ	特別活動及び部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動への自主的、実践的な取組の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に委員会活動において生徒の主体的な運営場面が増える。 	管理職 生徒 学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナとしてのHR活動及び学校行事の妥当性の検証と充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果の高いHR活動や学校行事の充実を図ることができたと答える教員80%以上 ・HR活動に意欲的に参加できた生徒80%以上 ・学校行事に意欲的に参加できた生徒80%以上 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動を通じた健全な生活態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に参加したことにより、人間的に成長できたと答える生徒90%以上 	
カ	保護者や地域等と連携し、開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・NESや校内LANの効率的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務処理に掛かる時間が減少する。 	事務 教務 生徒 研修 総務 広報委 学年
		<ul style="list-style-type: none"> ・経営予算の見直し年3回 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的に予算を執行する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・リレー研修年1回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な事務処理を行う。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と学校間の緊密な情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は相談に適切に対応していると答える保護者85%以上 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業、ホームページ、メール配信等を活用した広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよくわかると答える保護者70%以上。 ・地域にタイムリーに伝わる学校だよりを8号発行。 ・メール配信登録率100% 	

様式第1号

キ	持続可能な教職員の働き方改善	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に対応した校内研修の実施 ・主体的に研修に参加して知見を広め教育活動に生かす 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を適切に実施できたと答える教職員 80%以上。 	管理職 研修 学年 各分掌 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> ・各学年・分掌・教科で業務の削減、効率化に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌、学年より業務の平準化、効率化に関する提案を吸い上げ具現化させる取組 2 件以上 	

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。